

# あゆみのあゆみ

編集・発行：太田あゆみ

〒760-0068 高松市松島町2丁目4-12

電話 087-839-2835  
(議員控室)

電話 080-6398-4607

E-mail mm\_ayumitai@outlook.jp

## 第44歩

誰かの政治から  
わたしたちの政治へ



## ようやく、費用弁償（議会出席手当）廃止!!でも…

11月5日の議会運営委員会で、自民党清新会から議会改革に関する提案が示され、そのひとつに費用弁償の廃止がありました。そして、11月27日の議会運営委員会では条例改正案が示され、12月定例会で全会一致で可決。

これまでわたしは賛同できる議員と共に廃止の条例改正案を出してきましたが、毎回否決。今回賛成した議員の中には、当時反対していた議員も多くいます。

あまりに突然、廃止が決まったので正直驚いています。何より、これまで廃止をめざして動いてきた少数会派やわたしのような無所属議員に一切の説明がなかったことが、悔しくて仕方ありませんでした。

### 【趣旨弁明（提案理由の説明）より抜粋】

近年の物価高や人件費の高騰が本市財政状況に大きく影響を与えており、市議会議員として身を削る覚悟を持って本市財政に貢献できる事項を検討する必要が生じていることを念頭に置き…（以下略）

## 身を削る覚悟で！…ボーナスアップ？？

12月定例会には、市長、議員などの特別職の期末手当（ボーナス）増額の議案も提出されました。

これは、人事院勧告に基づき、民間企業と公務員との給与格差を埋めるためのものです。一般職員に適用されることは理解できますが、市長やわたしたち議員は選挙で選ばれます。

当選した時の額が、市民の皆さんとの約束の額であるはずではないでしょうか？特に、議員に関しては、自分たちのボーナスアップを自分たちが可決するという構造自体に大きな問題があると考えています。

さらに、上記の費用弁償廃止の趣旨弁明では「身を削る覚悟を持って本市財政に貢献」と述べていたのに、あまりに矛盾しているのではないでしょうか。

### 【条例改正による増額分】

・市長	68,000円
・議長	43,620円
・副議長	38,820円
・議員	36,480円



知ってる?  
議員のボーナスは  
昨年も72,960円  
アップしてるよ！

### 高松市議会のこれまでの経緯

2015年5月	太田初当選。費用弁償は議員特権であるとして受け取り拒否通知書を提出。
2015年9月	当時距離に応じて6,000円または6,500円が支給されていた費用弁償廃止の条例改正案を太田を含む4名の議員で提出→継続審議
2016年3月	否決
2016年3月	議会運営委員会による委員会提出議案として、一律3,000円に引き下げの条例改正案が提出され、賛成多数で可決。制度そのものは継続。
2019年6月	太田を含む4名の議員で費用弁償廃止の条例改正案を再度提出→継続審議
2019年9月	否決
2024年12月	費用弁償廃止の条例改正が全会一致で可決

## さらに報酬そのものも引き上げの議論！

12月23日に開かれた「高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会」では、据え置きの意見も出ましたが、結論としては1.1%の引き上げを市長に答申することになりました。

### 1.1%の引き上げは、年額では

- ・市長 144,000円 アップ↑
- ・議長 96,000円 アップ↑
- ・副議長 84,000円 アップ↑
- ・議員 84,000円 アップ↑

引き上げには条例改正が必要だけど、議会はどう判断するんだろう？



となり、月額報酬を基に計算している期末手当も、当然連動して増額になります。

審議会では、物価が上昇している、職員の給与が引き上げられたので、議員や市長も上げるべきなどの意見が出されました。そもそも選挙で選ばれる議員や市長を一般職員と同様に考えるべきではないと思います。

現在の市長給料は1,110,000円、議員は608,000円です。報酬だけでは生活が厳しい町村議会ならともかく、この額以上の引き上げは必要ないと考えます。

# 生活保護は生きるための権利！

11月、全国のケースワーカー（以下CW）や福祉関係者が参加する「全国公的扶助研究会」に政務活動費を使って参加してきました。今回は研究会で学んだことを質問に取り入れました。CWの孤立や孤独といった生の現場の声を聞くことができたのも貴重な経験となりました。

生活保護は憲法に定められた権利です。子どもや若者の貧困は深刻な状況にあり、2024年度上半期の生活保護申請件数は、前年の同じ時期に比べて2.8%増。これはコロナ禍で景気が悪化した期間を上回る申請件数です。

**Q** 高松市における、生活保護制度の**捕捉率**は把握しているのか？

**A** 生活保護を利用できる方であっても、自らの意思で申請しない方もいるので、生活保護を受給できる方のうち、実際に制度利用者の率を把握することは困難で把握していない。

**生活保護制度の捕捉率とは**、生活保護を受給できる所得水準際の世帯の中で、何%の世帯が実際に受給しているかの割合。

厚生労働省は2割強という推計値（所得のみの比較）を発表（2018年）しているが、イギリスやドイツの捕捉率は8割以上であり、日本の課題は大きい。

▶2023年の日本弁護士連合会会長声明の中には「我が国における生活保護の捕捉率は2割ないし3割程度と推測されており」とあり、本来生活保護制度を利用すべき人が利用していない／できていない実態を表しています。

## 「エネルギー貧困」ってなんだろう？自治体ができる取組は？

「エネルギー貧困」という言葉を聞いたことがありますか？電気料金やガソリン・灯油代などが家計を圧迫し、特に収入の少ない世帯の生活の質に影響を与え、**所得に占めるエネルギー支出の割合が10%を上回ることがひとつ**の指標とされています。

近年のエネルギー価格高騰や異常な夏の暑さを考えると、高松市でも多くの世帯がエネルギー貧困の状態にあるのではないかと推測できます。

### 熱中症の救急搬送件数は過去最多

2024年5月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員の累計は97,578人でした。これは、2008年の調査開始以降、最も多い搬送人員でした。また、前年度同期間と比べると6,111人増（香川県では245人増）となっています。

年齢別では高齢者が最も多く、発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多くなっています。家の中で熱中症になる高齢者が一番多いということは、**冷房を適切に利用できない、していないことの現れではないでしょうか。**



ケースワーカーの  
仕事とは？

1円単位での生活保護費の計算・支給処理、相談援助業務のケース記録作成、国・県からの調査報告、生活保護利用者の戸籍・金融機関調査。生活状況確認、利用者からの相談対応や医療機関との連携、また府内会議や研修、他課との調整…とても過密な労働状況です。

法律では、**生活保護CWは高松市のような都市部では「80世帯にひとり」**の配置が標準とされています。

**Q** 高松市における、現在の生活保護利用世帯数とCWの人数、ひとりあたりの平均担当世帯数は？

**A** 生活保護利用世帯 5212世帯  
CWの人数 57人  
ひとりあたり担当世帯数 約91世帯



◎職員の採用計画にも反映させながら、**法定のCW数を早期に満たせられるよう努める。**

大西市長 ◎生活保護制度は、憲法第25条の理念に基づき、すべての国民に対して最低限度の生活を保障するセーフティネット。個々の心情に寄り添い、きめ細やかな対応がおこなえるよう、適正な生活保護行政の実施に、鋭意取り組む。

### 福祉分野と環境分野の連携を！

エネルギー貧困対策は、低所得者への施策は福祉分野が、断熱化や省エネ化は環境分野が担当となります。ふたつの異なる分野が連携をしなければ、エネルギー貧困の問題は解決されません。

イギリスでは、低所得者の住宅のエネルギー効率改善（断熱対策）を重視し、実施しています。このような大きな政策課題に対しては、**政府が率先して何らかの手立てを打っていくべきですが、自治体でもできることがあるはずです！**

**Q** 地球温暖化対策として、高松市ができるエネルギー貧困対策につながる取組を進めてはどうか？

**A** 住宅の断熱改修や、太陽光発電設備などに補助をおこなっている。特に電気料金の値上げがエネルギー貧困の一因なので、2023年度には省エネ性能が高い家電の導入支援もおこなった。今後、より省エネ効果の高い家電への更新が進む仕組みづくりなど、エネルギー貧困対策につながる家庭の脱炭素化を支援したい。

⇒本当に生活が厳しい世帯は大型家電の買い替えは厳しいのでは？  
住宅の断熱改修も自己負担が大きいと難しく、まずはエネルギー貧困世帯が何を必要としているかを把握することが重要！

## 高松市の新しいロゴマーク 市民参画はどこへ…？



高松市の新しいロゴマーク

シティプロモーションとは、地域の認知度を上げたり、魅力を知ってもらうための活動で、高松市では現在「シティプロモーション推進ビジョン」を策定中です。

これは電通に968万円で委託したもので新しいロゴ、キャッチコピーも電通が作成しました。今回の補正予算499万4千円はポスター、ステッカーなどのデザイン企画や、ウェブサイトの製作にかかる経費です。

ビジョン（素案）には『「行政による押しつけ」「市が市民に向けて行う一方通行な取り組み」にならないために』、と書かれていますが、新しいロゴやキャッチコピーについては他の自治体のように公募したり、いくつかの案を示して市民投票で選ぶといった市民参画のプロセスが抜け落ちています。最初からまさに「行政による押し付け」になっていないでしょうか。

1月17日までパブリックコメントも実施しています、ぜひご意見を届けてください！

高松市 パブリックコメント 検索



現在使用されているロゴマーク

### 来年度予算要望を提出しました

来年度の予算・政策要望を財政局長に提出しました。会派に所属しているときは、市長が対応してくれましたが、無所属議員は局長対応となります。

環境、子ども、高齢者、財政など10分野60項目をまとめました。特に、能登半島地震を受けて、災害であらわになる孤立・孤独、引きこもり、独居高齢者、障害者の課題は何度災害を繰り返しても、解決されることではなく、まずは備えと普段からの対策が何よりも必要であることを前文に記載しました。

厳しい財政状況の中で、どの事業を取捨選択するのかが問われています。

右肩上がりの経済成長を前提としてきた社会の仕組みを変え、個人が尊重され、持続可能で多様性のある地域の暮らしを作り出したいと考えています。



### 新しい年によせて

昨年は、能登半島地震で始まった1年でした。自然災害だけにとどまらず、物価上昇で「安心な暮らし」からはかけ離れた日々でした。

政治にできることは何か、議員としてできることはありますか、寄せられる相談や悩みに耳を傾けながら、わたしも一緒に思い悩むことが多かったです。2025年は、学びと動きの年にしたいと思っています。そしてしっかりと皆さんに議会のことを伝えていきます。

### 精神障害者医療費助成の拡充を！

精神障害には、統合失調症、うつ病、パニック障害、認知症、アルコールや薬物依存症など外見ではわかりにくく、理解されにくい現状があります。

精神障害者を支える医療制度として、重度心身障害者医療費助成制度がありますが、残念ながら香川県では精神障害は対象外となっています。(全国6県のひとつ)

精神障害の症状の多くは薬でコントロールすることが必要で、通院や入院には多額費用がかかり、支える家族の負担も大きくなっています。

そこで、香川県に対して福祉医療費助成制度を確実に拡充することを強く求める意見書をわたしも連名で提案しました。

結果、すべての議員が賛同し、可決となりました。議員になって10年ですが、提案した意見書が可決されたのは初めてでした！

あなたはどう考えますか？

### 四国新幹線は必要なのか？？

12月20日、「四国の新幹線勉強会」に参加しました。

講演の中では、四国の鉄道のトンネルや鉄橋などのインフラは老朽化していて、地震や水害時の危険性が高いことを指摘。また、国内で過去に起きた大きな震災では、新幹線も被災したものの、復旧までの日数が在来線よりも早かったとの説明がありました。

2018年の西日本豪雨の時には、JR山陽線の寸断が起こった際、不通となった区間を新幹線で振り替え輸送した事例などが紹介されました。

災害への備えが大切なことは理解できますが普段の生活の中で住民の交通を守ることも大切です。1997年、長野新幹線の開業により並行在来線の信越本線の一部が、しなの鉄道に経営移管。一部は廃線になりました。その区間の利用客は、バスを利用することになりましたが、移動時間の増大や、運行本数の減少、極端な運賃の増加など、鉄道利用よりも大きな不便を被ることになりました。1997年は、まだ日本の人口のピークを迎えておらず、高齢化率も今ほど進んでいない時期です。にもかかわらず、並行在来線を利用していた地域住民は新幹線の開業によって、不便を強いられたことになります。

また、膨大な税金などが投入される新幹線建設は、将来世代に重すぎる負担を強いるものです。一部の人の利便性や儲けのために、多くの人の生活が立ち行かなくなるとすれば、四国新幹線が本当に必要かどうかを考えるべきではないでしょうか。

議会のこと、普段の生活のことなど、  
なんでも気軽に話しする会です。



## みんなとあゆみのおしゃべり会

3月2日(日) 10:00 ~ 12:00 会場: 太田あゆみ政策事務所



## 高松市議会 2025年3月定例会

3月上旬~(予定)

※傍聴時の託児サービスオンライン予約はこちら→



## 市民派改革ネット\* 第40回議会報告会

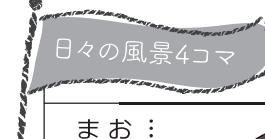
昼の部 4月6日(日) 13:30~

仏生山交流センター 会議室11北

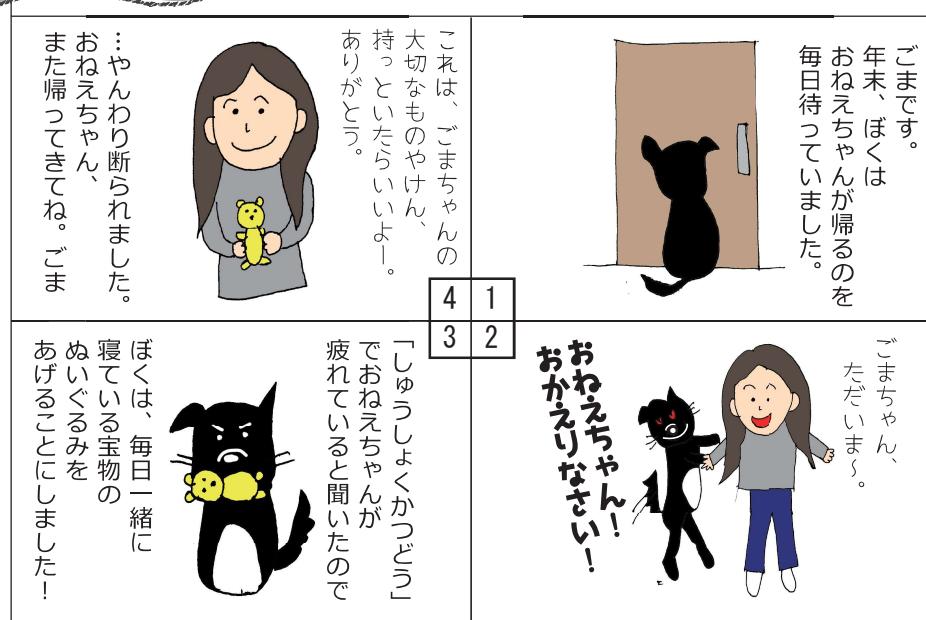
夜の部 4月9日(水) 18:30~

瓦町FLAG 8階 市民活動センター会議室

お気軽に  
ご参加ください!



## 「ごまからのプレゼント」 作・絵: 太田あゆみ



## ■ 報酬の使途を公開します

10月	11月	12月
議員報酬 608,000円	議員報酬 608,000円	議員報酬 608,000円
源泉所得税 42,290円	源泉所得税 42,290円	源泉所得税 35,820円
県市民税 48,700円	県市民税 48,700円	県市民税 48,700円
国民年金 16,920円	国民年金 16,920円	国民年金 16,920円
国民健康保険 129,000円	国民健康保険 130,100円	国民健康保険 130,100円
議員活動費 35,382円	議員活動費 38,857円	議員活動費 32,964円
あゆみのあゆみ印刷代 138,560円	みんなと未来へあゆみ隊へ 30,000円	みんなと未来へあゆみ隊へ 50,000円
みんなと未来へあゆみ隊へ 50,000円	太田生活費・その他活動費 301,133円	太田生活費・その他活動費 293,496円
太田生活費・その他活動費 147,148円		

●12月期の期末手当は1,167,360円(うち源泉所得税:214,537円)でした。

増額分は受取りを拒否しています。

●費用弁償(議会出席手当、1日あたり3,000円)は受け取りを拒否しています。

●国民健康保険は7月~2月に納付します。

●前号の8月太田生活費・その他活動費について(正)216,326円でした。訂正いたします。

## ■ ご意見・ご感想はこちらから→✉ mm\_ayumitai@outlook.jp

ひとりでも多くの市民のみなさまに議会や市政の情報を届けするために、勝手ながらポスト投函させていただいている。

また、手配りで配布させていただいているので、お手元にタイムリーにお届けできない場合があります。ご了承ください。

## 【10月】

1日 来年度予算・財政収支見通し説明／7日 委員会視察旅費の一部支給拒否と併記の申し入れ／8日 第46回地方×国政策研究会★／12~13日 日本財政学会第81回大会(東京)／16日 決算審査分科会(都市整備局)／18日 議会報告会(夜の部)／20日 議会報告会(昼の部)／28日 一高生と高松市議会議員の意見交換会

## 【11月】

6~7日 建設消防常任委員会先進地視察(東京)／12日 決算審査特別委員会・全体会／18日 香大生と高松市議会議員の意見交換会／19日 第72回市町村議会議員研修会(公園PFIの狙いと背景)★／22~24日 公的扶助研究会全国セミナー(埼玉)／26日 第68回高松市社会福祉大会／27日 議会運営委員会(傍聴)／28日 普通救命講習会／30日 高松市男女共同参画市民フェスティバルワークショップ「女性議員と話そう」パネリスト

## 【12月】

1日 みんなとあゆみのおしゃべり会／2~18日 高松市議会12月定例会／4日 2025年度予算・政策要望(財政局長)／15日 高松市姉妹・友好都市親善派遣研究生報告会／20日 四国の新幹線勉強会／23日 高松市議員報酬、市長及び副市長の給料等審議会(傍聴)

※末尾に★のあるものはオンライン参加です

## 太田あゆみ(高松市議会議員3期目)

1980年	高松市生まれ・44歳
	松島小学校、光洋中学校卒業
1999年	大手前高松高等学校卒業
2003年	大谷大学文学部卒業
2015年	高松市議会議員選挙初当選
2023年	高松市議会議員3期目当選
2024年	香川大学大学院創発科学研究科入学

2011年の東日本大震災と原発事故がきっかけで、政治や社会問題に关心を持つようになる。元ヤングケアラー、元シングルマザー当事者として、議会で積極的に発言。社会人大学院生として地方財政を学んでいる。

✉ www.ayumirai.com/

@ayumi\_step

@ota\_ayumi.tkmt

✉ www.facebook.com/ayumi.otta

